

# ノビネチドリ ラン科

*Gymnadenia conopsea* (Cham.) Miyabe et Kudô

鳥取県：絶滅危惧Ⅰ類(CR+EN)

環境省：—



大山 2008.6.13/撮影：坂田成孝

■**選定理由**：県内自生地は大山に限られ，生育本数はごくわずかである。盗掘や生育地の崩落，周辺植生の変化などで減少している。

■**特徴**：ブナ帯-高山帯域に生育する多年生ラン科草本。茎は直立し高さ30-60 cm，葉は縁が波状で，5-10個つき互生し上のものほど細くなる。花は6月ごろに咲き，淡紅色で穂状の花序に多数つく。大山では，標高1400 m以上の草地にわずかに生育している。県内東部でも以前には高標高域の林道法面で確認例があったが，樹林化などの環境変化により現在は絶滅。

■**分布** 県内：大山町。県外：北海道・本州・四国・九州。

■**保護上の留意点**：嚴重な盗掘防止対策と草地の維持管理が必要。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：—

執筆者：矢田貝繁明